

若松かねしげ四季報(春季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維
2017年1月1日～3月31日

穏やかな天候で迎えた正月でしたが、通常国会が始まると与野党の激しい攻防戦となりました。

今回は、通常国会前半戦の様子、東京都議選の戦い、東日本大震災7年目の記念行事等を中心に、久しぶりに予算委員会で質問の機会もいただいたため、政策実現の戦いも紹介させていただきます。

1. 政 局

(1) トランプ大統領就任と安倍総理会談

1月20日、トランプ大統領就任式が行われ、「今日、この日から、アメリカ第一のみ」との趣旨の就任演説が行われました。日本車排除のような保護貿易発言も飛び出す中、安倍総理は2月10日、世界に先駆けトランプ大統領との会談を行い、日本企業の米国経済・雇用への貢献、日米安全保障政策の堅持等が表明され、米国TPP脱退後の日米貿易関係の在り方等が議論されました。

その後、ゴルフプレー、北朝鮮ミサイル発射への共同記者会見等を行い、トランプ大統領から「日本を100%守る」との発言があり、当初のトランプ政権への不安感が大きく改善してきました。

(2) 平成29年通常国会と森友学園問題

1月20日は平成29年通常国会の開会式が行われ、6月18日までの150日間の国会論戦が始まりました。

初めに、平成28年度第3次補正予算の審議が行われ、その後、平成29年度予算審議が衆議院で始まりましたが、野党が安倍昭恵夫人の森友学園名誉校長就任等を攻撃の対象にする中、2月28日には衆議院を通過し参議院に送付されました。

参院予算委員会での森友学園問題は、次から次へと降って湧いたような情報が提示され、マスコミも信ぴょう性の乏しい情報を安易に報道し、審議の收拾がつかず、3月23日の籠池理事長の証人喚問となりました。公明党から竹谷とし子理事が公認会計士らしい質問で詰め、5項目すべてに籠池理事長の証言の不自然さが明確になりました。

そして3月27日に参院採決となり、年度内の予算成立となりました。4月からは後半国会に入り、テロ等準備罪法案、働き方改革等の審議が行われ、今後、マスコミ報道は様々な政策に触れざるを得ず、森友問題の過熱報道は減少すると思われる。



(3) 東京都議選

3月14日、東京都議会公明党と小池知事率いる「都民ファーストの会」が政策協定と選挙協力を締結しました。都議選に際して、都議会公明党は①議員報酬2割削減が実現、②高校授業料無償化の政策を大きく拡充、③2020オリパラに向けた人にやさしい街づくりも大きく前進させました。

しかし、2009年民主党躍進となった都議選の状況に酷似し、公明党を含む既存政党候補者の苦戦は免れませんが、実績・実力ある公明党の都政協力を求める小池知事「都民ファーストの会」から、都議選に当たり公明党23名全員の候補者が推薦を受ける意味を、都民に十分に理解して頂く戦いとなってきました。

2. 参議院災害対策特別委員長・国会活動・党務

(1) 参議院災害対策特別委員長

2月22日、参議院議員会館食堂で岩手、宮城、福島被災3県の物産展と同時に、私の提案で災害グッズも展示していただき、山口代表視察の際に説明する機会をいただきました。

3月17日、東京都庁を訪ね、首都圏直下型地震の防災対策を聴取しました。木造住宅密集地域の延焼防止のための耐火住宅への助成金制度等、公明都議会議員の提言が数多く実現していることがわかりました。

3月29日には所信表明に対する3時間の質疑応答を議事し、この日、承認された「津波対策推進法（津波の日改正法案）」の審査の経過と結果を31日の本会議で報告し、全会一致で採択されました。

(2) 予算委員会

前臨時国会から予算委員となり、参院では1月30日の平成28年度第3次補正予算の審議が始まりました。平成29年度予算の参院審議は、2月28日から3日間行われたテレビ中継付きの予算総括質疑（全閣僚出席）から始まりました。恒例の委員会視察は竹谷理事の代理として参加し、東北財務局、国税局、山形県知事から地域課題を聴取し、オリエンタルカーペット、東北芸術工科大学、スパイバー視察等、一泊二日の充実した内容でした。

委員会の委員長になると、所管事項に係る質問はできないため、災害関係以外の質疑を2回の予算委員会で行うことができました。

3月3日は、全国各地で起きた福島県からの避難者に対するいじめ問題を取り上げ、福島県が要望している放射線教育の実施、県立環境創造センター交流館「コミュタン福島」放射線展示施設の松野文科大臣視察等、数多くの質疑を行いました。（議事録参照）

3月15日は、東日本大震災福島復興加速化会議直後のため、山口代表らと視察した飯館村の避難指示解除後の村外避難者の村内通学に対する国の生活支援制度の必要性等を訴えました。

3月27日の平成29年度予算の採択まで、90時間近く委員会室着席および視察に費やしました。

(3) 環境委員会

2月16日は、委員会理事として、大熊・双葉両町の間蔵貯蔵施設の視察に参加しました。この視察で気づいた課題を3月9日の委員会質問で取り上げました。

3月22日は、平成29年度予算の委嘱審査が行われ、私は北海道、秋田県に関する地域環境課題について質問しました。(議事録参照)

(4) 党務

① 福島県本部代表業務

本年は、1月6日の福島県本部旗開きからスタートし、1月15日は、米国ワシントン州ハンフォードサイトの大西康夫教授を迎え、郡山市内で「放射能リスクと向き合い、福島で生きる」と題した県本部主催の講演会を開催し、あるべきリスクコミュニケーションの姿を学びました。

1月30日の予算委員会終了後には、愛知県本部賀詞交歓会で開催して頂いた福島物産展の販売応援に駆け付け、全品完売することができました。

2月26日、当選1期生の会津若松市の大山市議、猪苗代町の星野町議と同行しながら、地域課題解決方法、専門分野の強化等をアドバイスしました。

3月25日郡山市で開催された福島県本部政経パーティーには、山口代表と石井国交大臣に出席していただき、千人近い参加者を数え、大盛況でした。4月には会津若松、福島、いわきの3市でも開催され、3千人を超える参加者のご協力に、感謝の思いでいっぱいです。

② 福島復興加速化会議

2月6日、福島担当若手国会議員と、福島市内の福島復興局、福島環境再生事務所、福島県庁、官民合同チームを訪ね、それぞれの復興の取組内容と課題を伺い、意見交換を行いました。

2月12日、大口衆議院国対委員長、高木みちよ衆議院議員、更には神奈川県議および横浜市議等と、前述の県立環境創造センター交流館およびガイナックスを視察し、正しい放射線教育の重要性を理解していただきました。

避難指示解除後の復興状況の視察として、2月5日川内村、19日広野町、21日楢葉町、3月4日南相馬市を訪ねました。

3月12日は山口代表を迎え、3月末避難解除を迎える飯舘村と川俣町を視察したのち、福島市内で開催した福島復興加速化会議の場で、原子力被災地12市町村首長から直接、要望を伺い、被災地に寄り添う福島復興加速化会議が開催できました。

③ 北海道政策実現

予算委員会審議と都議選対応でこの期間の北海道訪問ができませんでしたが、党北海道開発振興委員会で開催される、JR北海道対策、水素社会地域づくり、北方四島問題等の会議に参加し、解決策を委員会メンバー一体で研究中です。

3月22日の環境委員会では、広大かつ積雪寒冷地である北海道特有の課題に対応できる廃棄物処理体制構築に向けた国の支援策、道内国立公園の施設整備促進、水素社会実現に向けた取り組み支援、について取り上げ、諸課題解決に取り組んでいます。

④ 石井国土交通大臣要望

3月21日は、石川郡5町村長と社会資本総合交付金の拡充および地元道路の早期開通を、3月24日は、江差周辺3町長と木古内・江差道路の早期工事化を要望しました。

国会外活動・都議選

(1) 新春街頭演説

1月1日午前9時、国政復帰後初めて秋田駅前新春演説を、午後2時から青森市内2か所でさせていただきました。2日は午前11時福島駅、午後1時半から郡山駅前行い、穏やかな天候の中で、新春の決意を伝えることができました。

(2) 新春賀詞交歓会出席

昨年は4日から通常国会があり、ほとんどの地元新年会に出席できませんでしたが、本年は4日の福島市、仙台市、郡山市、須賀川市を封切りに、東北15か所、首都圏10か所、計25か所の新春賀詞交歓会に出席できました。

(3) 議員会、党員会

1月5日は青森県本部議員総会、翌6日は福島県本部旗開き、18日は宮城県本部新春政経セミナーに出席しました。

毎月、国会議員を呼んでの宮城県本部団体要望懇談会には、1月28日と3月25日出席し、介護事業者の課題等を伺いました。

2月22日は久しぶりに郡山総支部党員会に出席し、平成29年度予算案に関する公明党の成果等を伝えました。

(4) 東京都議選

小池ゆり子都知事率いる「都民ファースト」旋風が吹き荒れる中、2月20日は、担当の北総支部賀詞交歓会に私の知人と出席させていただきました。3月中は、週1回夜のミニ語る会で都議会公明党の実績を訴え、昼も北区議と有力者回りをしています。

(5) 自民党関係行事

公明党県代表として挨拶する機会が増え、2月2日は森まさ子参議院議員、3月7日は亀岡よしたみ衆議院議員（ともに福島市）、3月18日は自民県連定期総会、夜は菅家一郎衆議院議員（いわき市）主催の国政報告会に出席し、福島県内5小選挙区自



民候補者と公明東北2議席共々の勝利を訴えました。

(6) 視察および講演

≪税務相談≫

2月4日は東北税理士会館で井上幹事長と、24日は郡山支部の税理士による無料税務相談所を視察しました。今年から税務申告の際、マイナンバー登録が必要となり、そのための入力作業が負荷となっていました。

≪2月3日≫公認会計士の友人からの依頼で、新横浜ロータリークラブで「福島復興の現状と課題」と題した講演を行いました。

≪3月15日≫郡山周辺経営者の会であるエリート倶楽部で、「福島新エネ社会構想と企業戦略」と題して、拙著「福島再エネ100%イノベーション」を紹介しながら、ZEB（ゼロエネルギービル）時代の企業戦略について講演しました。

≪3月16日≫昨年中央大学学員会幹事となり、初めて、学員会定期総会に出席しました。現在会員数1万人で、母校発展のため、倍増を提案しました。

≪3月19日≫石川町国政報告会を毎年開催しており、今年は35名の町内有力者に参加していただきました。

(7) 後援会および地元活動

〔CPAポリティックスフォーラム〕

3月3日、57回目となる政策研究会を都内で開催し、防衛省から講師を呼び、「我が国を取り巻く戦略環境と防衛政策」と題して初めて防衛政策を勉強し、参加者に大変興味を持っていただきました。

〔郡山市第九合唱団〕

昨年末から郡山市第九合唱団に入団し、1月9日、410人の団員とともに合唱させていただきました。市民オーケストラのため、最初はそろわないところが目立ちましたが、下野指揮者のリードが素晴らしく、本番には合唱団、オーケストラ、聴衆が一体となった、感動的な第九を披露でき、役員、団員とも親しくなれました。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地秘書）

恩田さんと菊地さんがサポートしています。予算委員会審議に時間が費やされ、地元活動が減少せざるを得ない心苦しさを感じています。



*東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

県都福島市の事務所を陣場町に移転してから、訪問者が増加しています。福島市庁舎近くにありますので、ぜひ、お寄りください。

*福島県福島市浜田町4-16富士ビル1階
Tel:024-572-5567 Fax:024-572-5587

③盛岡事務所（太田公設第2秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けています。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上